

令和6年度 1年次生 学びのプラン

教科名	家庭科		単位数 (コマ数)	単位 (コマ)	履修年次	1年次				
科目名	家庭基礎		履修	必履修（共通）	開講	通年				
教科書	Creative Living(大修館書店)		副教材	生活ハンドブック(第一学習社)						
1 学習の目標										
人の一生と家族・家庭及び福祉、衣食住、消費生活などに関する基礎的・基本的な知識と技能を習得させ、家庭や地域の生活課題を主体的に解決するとともに、生活の充実向上を図る能力と実践的な態度を育てる。										
2 学習の方法										
*授業は各HR、もしくは被服室で行います。 *調理実習は調理室、被服実習は被服室で実施します。 *年に数回、外部の講師を招き、出前授業を実施します。 *授業では、教科書、資料集、ファイル、タブレットを使用します。 *授業で使用するプリントは、配布するファイルに綴じてください。										
3 評価について										
①評価の観点										
知識・技能		人の一生と家族・家庭及び福祉、衣食住、消費生活、衣食住などに関する基礎的・基本的な知識を身につけている。								
思考・判断・表現		人の一生と家族・家庭及び福祉、衣食住、消費生活などについて課題を見いだし、その解決を目指して思考を深め、適切に判断し、工夫し創造する能力を身につけている。								
主体的に学習に取り組む態度		人の一生と家族・家庭及び福祉、衣食住、消費生活などについて関心を持ち、その充実向上を目指して主体的に取り組むとともに、実践的な態度を身につけている。								
②評価の方法										
材料 観点	定期 考査	単元 テス	実習	課題	ワー ク グルー	評価方法				
知識・技能	○	○	○		○	考査、単元テスト、実習の達成度によって評価します。 A：85%以上 B：50%以上 C：50%未満				
思考・判断・表現			○	○	○	実習、課題、ワークシート、グループワークの達成度によって評価します。 A：85%以上 B：50%以上 C：50%未満				
主体的に学習に取り組む態度			○	○	○	実習、課題、ワークシート、グループワークの達成度によって評価します。 A：85%以上 B：50%以上 C：50%未満				
4 その他										
*調理実習の実施前にエプロン、三角巾を準備するよう伝えます。 (コロナウイルス感染症予防の観点から中止になる場合があります) *考査は、①前期期末考査②後期期末考査の2回です。 *評価は、定期考査、単元テスト、実習、課題、ワークシート、グループワークにより総合的に評価します。										
5 単元の目標・評価										
科目名	家庭基礎	単元名	生活のマネジメント							
単元の目標	1 自分の生活と自分自身について自己理解を深める。 2 ライフステージについて理解する。									
育成を目指す力	傾聴力	発信力	想像力	創造力	計画力	知識活用力	分析力	課題発見力	自己肯定力	行動力
評価の観点	知識・技能			思考・判断・表現			主体的に学習に取り組む態度			
評価規準	●生涯発達の考え方に立ち、各ライフステージごとの特徴と課題について理解している。 ●必要な情報を収集し、疑問に思ったことや興味をもったことを調べたりすることができる。			●高校生活の課題、自己の生き方、将来の家庭生活と職業生活のありかたについて考えを深めながら、生活設計を立案したり、発表したりしている。			●人の一生を生涯発達の視点でとらえ、各ライフステージの特徴と課題について考えようとしている。			

科目名	家庭基礎	単元名	青年期の課題と自立							
単元の目標	1 青年期の発達課題を達成するための生き方を考える。 2 青年期は自己実現に向けて生きていくための準備をする時期であることを理解する。									
育成を目指す力	傾聴力	発信力	想像力	創造力	計画力	知識活用力	分析力	課題発見力	自己肯定力	行動力
評価の観点	知識・技能				思考・判断・表現			主体的に学習に取り組む態度		
評価規準	●青年期の自立について理解している。 ●必要な情報を収集し、疑問に思ったことや興味をもったことを調べたりすることができる。				●自立や男女の平等と相互の協力など青年期の課題について、自己の生き方と関連させて考えを深め、まとめたり、発表することができる。			●青年期を生涯発達の視点でとらえ、青年期の特徴と課題について考えようとしている		

科目名	家庭基礎	単元名	家族・家庭生活のマネジメント							
単元の目標	1 現代の家族の特徴と社会とのかかわりについて理解する。 2 家族関係から生じる問題について知り、その解決方法について考え、必要な力を身につける。									
育成を目指す力	傾聴力	発信力	想像力	創造力	計画力	知識活用力	分析力	課題発見力	自己肯定力	行動力
評価の観点	知識・技能			思考・判断・表現			主体的に学習に取り組む態度			
評価規準	●家族について理解し、現代の家族の特徴と社会との関わりについて理解している。 ●必要な情報を収集し、疑問に思ったことや興味をもったことを調べたりすることができる。			●多様な家族のあり方を知り、その課題について、自己の生き方と関連させて考えを深め、まとめたり、発表することができる。			●現代の家族の特徴に関心を持ち、これからの家族のあり方や社会との関わりについて考えようとしている。			

科目名	家庭基礎	単元名	経済生活のマネジメント							
単元の目標	1 経済的自立について理解する。 2 必要な金融の知識や情報を取得し、金融を主体的に判断できる能力を養う。									
育成を目指す力	傾聴力	発信力	想像力	創造力	計画力	知識活用力	分析力	課題発見力	自己肯定力	行動力
評価の観点	知識・技能				思考・判断・表現			主体的に学習に取り組む態度		
評価規準	●経済的自立について理解している。 ●生涯を見通した経済計画の必要性や経済計画で考慮しなくてはならない事項を理解				●自分の生活に起こったことと関連づけながら生活情報を活用することについて考えを深めたり、まとめたり、発表したりしている。			●生涯に起こりそうなりスクを想定しながら、経済計画について具体的に考えようとしている。		

科目名	家庭基礎	単元名	食生活のマネジメント							
単元の目標	1 食事と食品と栄養素の関係について理解する。 2 五大栄養素の様々な働きについて理解する。 3 調理を科学的に理解する態度を養う。									
育成を目指す力	傾聴力	発信力	想像力	創造力	計画力	知識活用力	分析力	課題発見力	自己肯定力	行動力
評価の観点	知識・技能			思考・判断・表現			主体的に学習に取り組む態度			
評価規準	●食事の役割について理解している。 ●五大栄養素と代表的な食品について理解している。 ●調理の基本技術を身につけ、実生活で活用し、調理することができる。			●自分の食生活や家族の食生活を分析し、改善方法について考えを深め、まとめたり、発表したりしている。 ●栄養素の種類と機能をふまえ、食品を組み合わせる具体的な献立をまとめたり発表したりしている。			●現代の食生活や食事の意義について考えている。 ●家族や自分の食生活について栄養素と健康を関連させて考えようとしている。 ●健康や安全に配慮した食生活について考えようとしている。			

科目名	家庭基礎	単元名	衣生活のマネジメント							
単元の目標	1 洗濯の目的と方法、洗剤の種類と働きを理解する。 2 衣生活における資源や環境問題を考え、配慮する姿勢をもつ。									
育成を目指す力	傾聴力	発信力	想像力	創造力	計画力	知識活用	分析力	課題発見力	自己肯定力	行動力
評価の観点	知識・技能				思考・判断・表現			主体的に学習に取り組む態度		
評価規準	●被服の表示を読み取ることができる。 ●洗剤の働きと汚れが落ちるしくみ、乾式洗濯と湿式洗濯の特徴や利用上の注意について理解している。 ●被服を長く大切にいかすための方法として基礎縫いの技術が正しくできる				●被服管理について具体的に考え、取り組もうとしている。 ●資源・エネルギー問題や環境保全に配慮した再利用や適正な廃棄の方法などにについて考えを深め、積極的に取り組もうとしている。			●洗濯の種類や汚れの種類、洗剤の成分に関心を持ち、合理的な洗濯の方法について考えようとしている。 ●環境に配慮した衣生活の営みについて考えようとしている		

科目名	家庭基礎	単元名	高齢期のマネジメント								
単元の目標	1 高齢者の生活課題を把握する。 2 高齢社会は、障がいの者社会参加を進めていき、性、年齢、病気や障がいの有無などで差別されない、一人ひとりの能力をいかす社会を目指していることを理解する。										
育成を目指す力	傾聴力	発信力	想像力	創造力	計画力	知識活用力	分析力	課題発見力	自己肯定力	行動力	
評価の観点	知識・技能			思考・判断・表現			主体的に学習に取り組む態度				
評価規準	●日本の高齢化の特徴と課題を理解している。 ●介護をめぐる状況を理解している。 ●人は生涯発達し続けること、高齢期だからこそいかされる能力がある			●高齢期の生活課題を自己の課題としてとらえ、解決策について考えを深め、まとめたり、発表したりしている。			●高齢期を肯定的にとらえ、適切にかかわろうとしている。 ●高齢社会の現状や課題、高齢者の自立生活支援は、どうあればよいのかなどについて考えようとしている。				

科目名	家庭基礎	単元名	共生社会をつくる							
単元の目標	1 家族や社会における共生、協働、福祉が果たす役割について理解し、地域活動やボランティアに関心をもつ。									
育成を目指す力	傾聴力	発信力	想像力	創造力	計画力	知識活用力	分析力	課題発見力	自己肯定力	行動力
評価の観点	知識・技能				思考・判断・表現			主体的に学習に取り組む態度		
	●共生社会の理念について理解している。 ●共生社会の実現には、日頃からコミュニケーションが重要であることを理解している。				●共生社会の実現に向けて、自分の生活する地域ではどのようなことができるか、考えを深めたり、発表したりしている。			●日常生活にある自助・互助・共助・公助のありかたについて考えようとしている。 ●現代社会における生活のリスクとその対応について考えようとしている。		

科目名	家庭基礎	単元名	子どもの生活と子育てのマネジメント							
単元の目標	1 人間は成長していく存在であることを知る。 2 子どもの行動の背後にあるものを理解し、そのかわり方を知る。 3 子どもの権利条約や児童福祉の理念を知り、子どももおとなと同様、一人の人間として人権をもっていることを理解する。									
	傾聴力	発信力	想像力	創造力	計画力	知識活用力	分析力	課題発見力	自己肯定力	行動力
育成を目指す力	知識・技能			思考・判断・表現			主体的に学習に取り組む態度			
評価の観点	●こどもにとって、生活から得られるあらゆる刺激がその子の人間形成につながっていることを理解する。 ●近年の子どもを取り巻く環境の変化や子育てをする保護者の課題について理解している。			●現代の子どもの心身の成長・発達について、生活や遊びなど近年の少子社会における子どもを取り巻く環境の変化などを視野に入れ、課題をみつけ、それらの原因および解決方法をまとめたり発表したりしている。			●子どもの心の成長・発達とその特徴を、子どもが育つ環境と関連させて考えようとしている。 ●近年の子どもを取り巻く環境の変化と課題について考え、よりよい環境を保障するために親や家庭、社会が果たす役割は何かを考えようとし			

科目名	家庭基礎		単元名	住生活のマネジメント						
単元の目標	1 すべての人にとって安全な住まいの必要性を理解し、安全に配慮した住まいのありかたを考える。 2 自然災害や人災などさまざまなケースに応じた防災対策について知り、自分の生活にいかせるようにする。									
育成を目指す力	傾聴力	発信力	想像力	創造力	計画力	知識活用力	分析力	課題発見力	自己肯定力	行動力
評価の観点	知識・技能				思考・判断・表現			主体的に学習に取り組む態度		
評価規準	●安全に配慮した室内環境の整備について理解している。 ●防災・減災に対する備えができている。				●安全に配慮した住まいや室内環境の整備について、地域の状況と結びつけて考えをまとめたり、発表したりしている。			●安全に安心して住める住環境について考えようとしている。 ●防災、減災について理解し、自分の住まいや地域の住環境を見直そうとしている。		

6	年間計画					
前期	4	オリエンテーション	☐ 家庭科を学ぶということ	4	前期 期末 考查	
		第1章 生活のマネジメント	☐ 生涯、発達し続ける ☐ 意思決定を重ねてつくる人生 ☐ どんな生き方をする？			
	5	第2章 青年期の課題と自立	☐ 子どもから大人へ ☐ 自立の達成を目指そう	2		
		第3章 家族・家庭生活のマネジメント	☐ 家族って何だろう ☐ 法律から見る家族・家庭 ☐ ダイバーシティの実現をめざす	4		
	6	第8章 経済生活のマネジメント ※金融リテラシー講座 ※消費者被害防止講座	☐ 18歳で変わる消費生活 ☐ 消費者トラブルの今 ☐ 私たちが社会を動かす	4		
		7.8	第9章 食生活のマネジメント	☐ 体と心を満たす食事 ☐ 栄養バランスのよい食事 ☐ 炭水化物を摂る ☐ 脂質を摂る ☐ たんぱく質を摂る ☐ 無機質を摂る ☐ ビタミンを摂る ☐ 持続可能な食生活 ☐ 調理のワザを身につける 調理実習		12
	9		第10章 衣生活のマネジメント	☐ 快適な被服の条件 ☐ 長持ちさせる手入れ ☐ 被服の3R、実践してる？ ☐ 衣生活のPDCAサイクル 被服製作		12
		10	第3章 家族・家庭生活のマネジメント	☐ 家族って何だろう ☐ わかってくれて当然？ ☐ 法律から見る家族・家庭 ☐ ダイバーシティの実現を目指		8
	第5章 高齢期の生活マネジメント		☐ 人生100年時代の高齢期 ☐ 年をとると変わること ☐ 介護を支える 高齢者体験・介護体験	6		
	11	第6章 共生社会をつくる	☐ 生活課題の乗り越え方 ☐ ともに生き、社会をつくる	6		後期 期末 考查
	12.1	第4章 子どもの生活と子育てのマネジメント ※子どもの権利条約出前講座	☐ 命の誕生 ☐ こんにちは赤ちゃん ☐ 子どもの仕事は「遊び」 ☐ 親になるということ ☐ 社会で子育て	6		
		第11章 住生活のマネジメント	☐ 安全に安心して暮らす ☐ 防災	2		
	2	最終章 生活をデザインする	☐ ホームプロジェクト	4		
	3					